

# 「津別町庁舎等建設基本構想・基本計画」の策定が完了しました

8月6日開催の第4回津別町庁舎等建設審議会をもって「津別町庁舎等建設基本構想・基本計画（案）」がまとめられ、付帯意見を添えて、8月15日、審議会会長加賀谷雅治氏より佐藤町長に答申されました。

その後、基本構想・基本計画（案）は、8月21日開催の議会特別委員会での協議を経て、8月27日から9月7日まで住民意見募集を行い、9月14日開催の議会特別委員会での協議と10月1日開催の第6回審議会での審議をもって10月2日付けで策定が完了しました。今回は第5回と第6回の審議会内容の概要をお知らせします。

## 第5回審議会内容の概要

第5回は9月18日に開催されました。

委員から「9月定例議会にて、職員の駐車場が狭いことから土地取得の補正予算が議決されたと聞いております。今までの審議の中で用地取得は話に出ていないかと思えます。審議会に再諮問するな」として説明しなければならぬと思えます。審議会に配慮されていないのではないかと思えます。説明を願いたいと思えます」と意見があり、事務局から「公有財産として取得しようとしている土地は、庁舎東側駐車場の道路向かいの更地です。まちなか再生計画の中で図書館や交通拠点の建設が予定されており、緑地帯も設ける予定です。町民の方の利便性も確保しつつ職員の駐車場も確保する必要があります。具体的に煮詰めていく過程の中で、用地の取得が必要という考えに至ったと

## 第6回審議会内容の概要

第6回は10月1日に開催されました。

冒頭、佐藤町長から「土地の取得に関し、審議会に事前にお話しをしておくべきであり、要らぬ心配と混乱をさせたことにおわびを申し上げます。図書館、バスターミナル、緑地帯などのスペースを勘案すると、非常に手狭だと感じ、近隣

の更地を先行取得しようと考えました。用途は、職員駐車場が現実的と考ええています」とおわびと説明がありました。委員からは「今後こういうことが起きないよう取り組んでいただきたい」など厳しい意見が出されました。

議案第1号「現庁舎敷地及び隣接町有地の利用見直しについて」では、事務局より、旧社会福祉協議会駐車場として使用している町有地のJAへの売却や駐車場の計画想定台数、複合商業施設などの土地利用についての説明があり、委員から今後の予定についての質問には、「基本設計の契約は11月中旬以降にずれこむ見込みです。来年3月末までが基本設計の審議期間ですので、図面や模型を使って審議会に提案し、議論いたしたい」と事務局から回答されました。なお、本件は委員の総意により議事ではなく報告として取り扱うこととされ、了承されました。

協議事項「1. 基本設計の発注について」では、委員から実施設計の金額の質問があり、事務局から「来年度当初予算に5千4百9万円を計上する見込みです」と回答されました。また、「プロポーザル入札の選定委員会には専門家は入るのですか」との質問には、「外部委員は考えています」と回答されました。「電源水道など災害時のバックアップ機能に配慮する必要はないのですか」との質問には「電子情報のサーバーには免震を考えています。非常用発電機は、現在あるものを移設します。貯水槽の計画はありませんので、今後検討していただきたい」と回答されました。「屋上貯水槽はない

のですか」との質問には、事務局から「配管を免震する想定です。貯水槽は費用がかかるのと、常に水を使う団地等とは違うため、庁舎への設置には疑問があります」と回答があり、役場水道技師から「高層階の施設は貯水槽を設ける必要性があります。帯広市では地中に緊急用貯水槽があり、これは水道管として整備され、地震発生時に出入口を封鎖して、中の水を汲み上げて使えるという備えです」との補足がありました。

議案第2号「住民意見募集で寄せられたご意見の対応について」は、提案どおり承認されました。

議案第3号「新公用車庫の建設場所及び時期について」では、完成時期についての委員の質問に対し、事務局より「旧町長公宅を取り壊して新公用車庫を建設し、現公用車庫取り壊しを平成31年9月末めどとしていきます」と回答され、提案どおり承認されました。

## 審議会について

次回審議会の開催は基本設計委託業者からの提案を受けた後となる11月末〜12月上旬の予定です。

※各資料は津別町HPに掲載します。

<http://www.townsubetsu.hokkaido.jp/>

## ■本記事についての問い合わせ先

津別町庁舎等建設審議会事務局  
(役場総務課)

☎76-2151(内線211・238)



## ～みんなでつくる10年後のつべつ～第6次津別町総合計画 第3回策定委員会を開催 まちの長所と課題について継続協議を行う

10年後の社会の展望を予想した資料について、スクリーンで説明を受ける策定委員。

町では、政策を総合的・計画的に進めるため、平成32年度を初年度とした「第6次津別町総合計画」の策定に向けて、準備を進めているところです。現在は30人で構成される策定委員会、3つの部会（まちひとづくり、住民生活、産業交流）ごとに協議を行っています。その進捗状況は、随時広報つべつでお知らせしています。今回は、9月19日に開催した第3回策定委員会での協議内容をお伝えします。

前回（8月8日）は、各部会ごとに津別のすばらしいところ、残念なところを分類し、それぞれ結果を発表しました（9月号を参照）。今回は、10年後の社会の展望をシミュレーションした資料を参考に、前回のワークショップで挙げられた町の伸ばしたいところ、取り組んでほしいところを、さらに掘り下げるワークショップを行いました。各部会から挙げられた主なものは、次のとおりです。

**まちひとづくり部会**（教育・人材育成・行財政等）

☆伸ばしたいところ 子どもが知らない人に挨拶ができる。

★取り組んでほしいこと 町に戻ってくる子どもたちを迎える環境づくり。健康寿命を延ばす施策。広報つべつの充実。

**住民生活部会**（医療福祉・子育て・社会基盤等）

★取り組んでほしいこと 医療や福祉面。



▲前回に引き続き部会ごとのワークショップを行い、前回挙げられた町のすばらしいところ、残念なところを更に掘り下げた。

子育て環境に力を入れてほしい。町内で買物できる環境整備。子育て世代が居住できる施設。高齢者の足となる交通手段の充実。既存の公園の充実、道具等の再整備。

**産業交流部会**（産業振興・観光・交流等）

☆伸ばしたいところ 他の町に誇れる木材産業。農産物、水がおいしい。自然・景観など優れた美しさがある。自然環境に恵まれている。

★取り組んでほしいこと 農畜産業にもっと力を入れてほしい。町内で買物できる環境整備。若者が津別に帰って来なくなるような働く場を作る。木材工芸館の活用。あおい道の駅の強化。町の知名度を上げるPR。

## 問い合わせ先

住民企画課企画グループ  
☎76-2151(内線215)